

98年度

日本近代文化導讀：日本の文化的基層を形成する自然・風土・民俗・伝統などの特質について、日本の詩歌の鑑賞をとおして理解を深めることをめざす。

第一学期

- 1：授業の目的・内容・方法について説明する。
- 2：万葉集における自然観について①一國見の歌、春秋の優劣
- 3：万葉集における自然観について②一人麻呂、志貴皇子
- 4：古今和歌集における桜の歌について一貫之、業平
- 5：和泉式部の恋愛歌と死生観について
- 6：新古今和歌集における三夕の歌について
- 7：西行の美意識について
- 8：定家の美意識について
- 9：期中試験
- 10：芭蕉の人間観について
- 11：蕪村の視覚的美について
- 12：良寛の人間観について
- 13：正岡子規の花へのまなざし
- 14：長塚節の自然へのまなざし
- 15：斎藤茂吉の生への執着
- 16：与謝野晶子の美意識
- 17：短歌会
- 18：期末レポートの提出

【評価方法】期中試験40％、期末試験40％、平常成績20％

第二学期

- 1：授業の目的・内容・方法について説明する。
- 2：石川啄木の望郷歌
- 3：北原白秋の都会詠
- 4：若山牧水の旅の歌
- 5：高村光太郎と「父」の関係
- 6：室生犀星と「故郷」
- 7：宮沢賢治における「修羅」
- 8：詩人になろう
- 9：期中試験
- 10：馬場あき子と「花」
- 11：寺山修司と「母」
- 12：河野裕子の母性
- 13：碧梧桐の俳句
- 14：虚子の俳句

15：誓子の俳句

16：多佳子の俳句

17：俳句会

18：期末レポートの提出

【評価方法】期中試験40％、期末試験40％、平常成績20％